

アットホームくずまき 栄えある環境大臣賞



より良い環境を目指す職員の皆さん

医療法人敬仁会 介護老人保健施設アットホームくずまき（西島康之理事長）は十二月十五日、地球温暖化防止活動の功績が認められ、環境大臣賞を受賞しました。

同施設では、太陽光発電（二〇〇キロワット）と木質ペレットボイラー（毎時五〇万キロワット）二基を導入し、施設内で消費する電力の約一〇割と、すべての暖房と給湯がクリーンエネルギーによって賄われています。

環境と福祉が融合した施設整備の取り組みは全国的にも例がなく、モデル施設として注目されています。

事務長の関直文さんは「環境面での評価とともに、利用者の皆さんに喜んでもらえる施設にしていきたい」と話しています。

昨年六月、同施設は県が進めている「いわて地球環境にやさしい事業所」に町内で初めて認定されました。職員数は、委託も含めると六十五人。六人のエコスタッフを中心に省エネに取り組んでいます。

現在、県版のISOともいわれる認証制度「いわて環境マネジメントシステム・スタンダード（IES）」の取得を目指しています。

江刈小 ずらり全国八賞 五・七・五の花開く



俳句コンクールで上位入賞した子どもたち

全国規模の俳句コンクールで江刈小学校（瀬川都代校長、児童四十二人）の児童が続々と入賞し、全校挙げての取り組みで着実に成果を上げています。

十一月二十七日表彰式が行われた湯河原文学賞（神奈川県湯河原町主催）俳句の部では、川戸章裕君（六年）と木戸場涼太君（四年）が小学生の部でそろって優秀賞を受賞しました。川戸君は平成十五年に続く二度目の受賞です。

十二月四日に開かれた梧逸忌全国俳句大会（前沢町主催）子どもの部

は鹿糖晟人君（三年）が特選を受賞。茅平拓弥君（二年）が秀逸に選ばれ、岩泉慶君（六年）と安東航希君（二年）は佳作に入賞しました。

新潟県上越市主催の俳句コンクールでは、安東君の句が選者賞、角地美桜さん（一年）と戸花郁弥君（五年）が佳作に選ばれました。

波紫啓太君（三年）は、町の俳句コンテストで奨励賞を受賞しました。

同校では、学校林での俳句活動や、波紫さん（三年）の俳句の授業、出前講座、縦割り班での俳句会など、俳句に親しむ活動が続けられています。